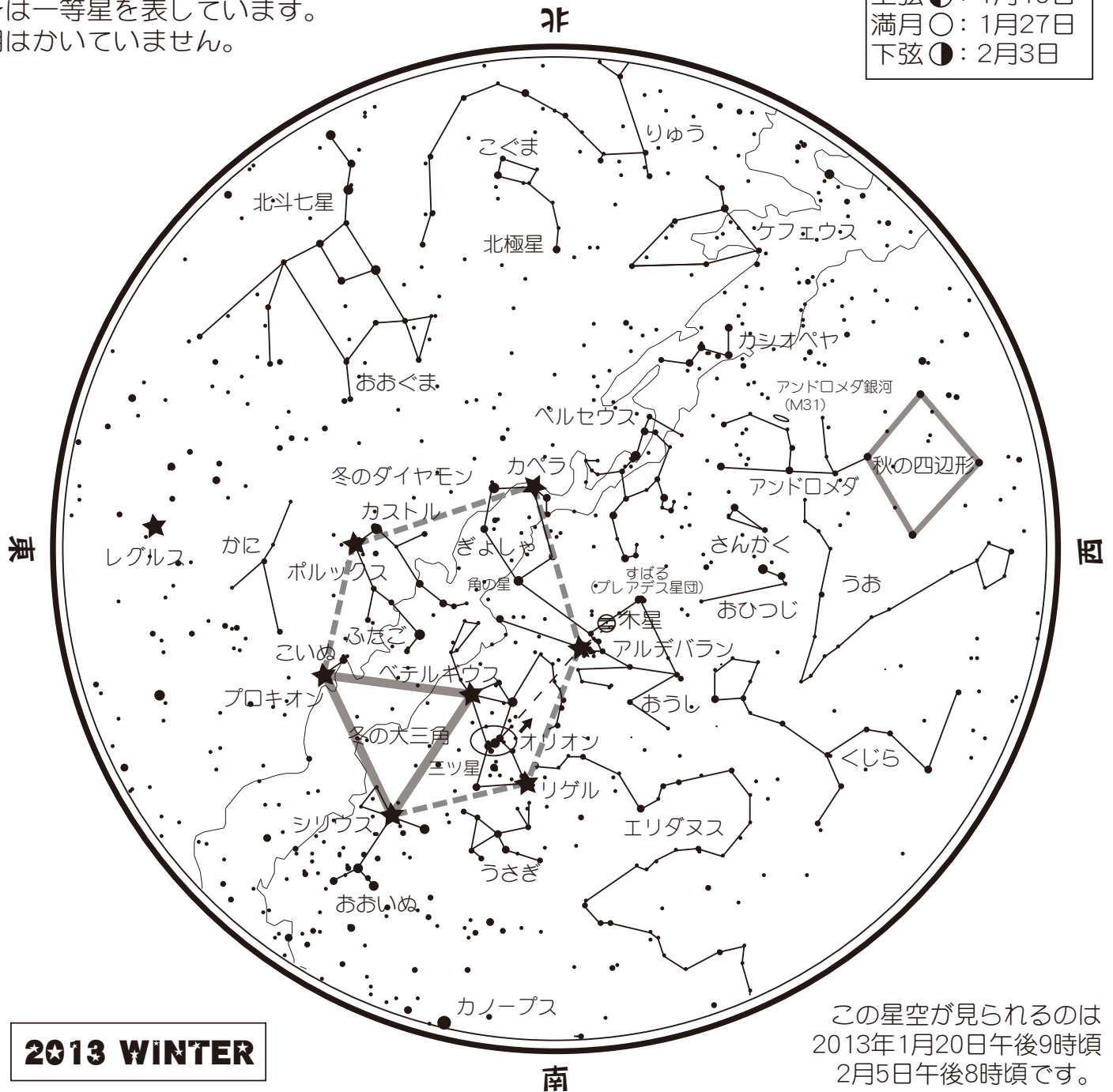


# ★ 姫路で見る 1 月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。  
★は一等星を表しています。  
月はかいていません。

上弦☾: 1月19日  
満月☽: 1月27日  
下弦☾: 2月3日



**2013 WINTER**

この星空が見られるのは  
2013年1月20日午後9時頃  
2月5日午後8時頃です。

冬真っ盛りの時期、星空は、7つの一等星に、太陽系の惑星「木星」が加わって、とてもにぎやかです。

木星は現在（一等星よりも明るい）-2.6等級の明るさで、午後9時頃、天頂付近に見えます。木星に負けず目立って見えるのは-1.5等級のシリウスです。全天で最も明るい一等星で、おおいぬ座の口元で輝きます。木星とシリウスの間にはリボンの様な形のオリオン座が見えます。おおいぬ座のシリウス、オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオンを結ぶと「冬の大きな三角」ができあがります。

次はオリオンの三ツ星から、おうし座の一等星アルデバランを探しましょう。オレンジ色のアルデバランを見つけたら、さらに線をのばして、おうしの肩の部分に見える星団「すばる」も見つけてください。また、おうしの角の星から、一等星カペラを含んだ五角形を描くと、ぎよしゃ座ができあがります。その近くに見えるふたご座は仲良し兄弟の星座で、兄のカストルは二等星、弟のポルックスが一等星です。

全ての星座を見つけたら、一等星6個を結んでできる「冬のダイヤモンド」も探してみてくださいね。

姫路科学館プラネタリウムは休演中です

2013年3月16日にリニューアルオープンします！お楽しみに☆